

「膵頭十二指腸切除におけるCattell Braasch法の有用性の後ろ向き検討」について

加古川中央市民病院外科では、現在、膵頭十二指腸切除を受けた患者さんを対象に研究を実施しております。内容については下記の通りになっております。

尚、この研究についてご質問がございましたら、最後に記しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

【研究概要及び利用目的】

膵頭十二指腸切除は難易度の高い手術であり、その安全かつ十分な手術の実施のために各施設で様々な工夫がなされている。当科では膵頭十二指腸切除時にCattell Braasch法という方法を用いることがあり、その有用性について後ろ向きに検討します。

対象は2008年1月から2018年12月の間に当院で膵頭十二指腸切除を受けた方で、Cattell Braasch群とその他群で手術時間、出血量や病理結果を比較検討し、Cattell Braasch法の有効性を検討します。

【研究期間】

研究期間：承認日～2021年3月31日

【取り扱うデータおよび試料・情報の項目】

対象は2008年1月から2018年12月の間に当院で膵頭十二指腸切除を受けた方
手術時間、出血量、病理結果を検討します

【個人情報保護の方法】

特定の個人を識別できないように処理し、対応表作成を作成し、対応表はネットワークに接続しないパソコンに保管します。個人情報を外部期間へ提供しません。

研究対象者個人が識別されないように成果報告します。

【データおよび試料提供による利益・不利益】

本研究は既存情報を用いた観察研究であり、研究対象者に直接の利益、不利益は生じません。

利益：通常診療の情報を用いており、患者個人には特に利益になるようなことはありません。

しかし、本研究への参加を通じて、医学の発展や社会全体の医療水準の向上に貢献することになります。

不利益：カルテからのデータのみ利用するため不利益はありません。

【登録終了後のデータおよび試薬の取り扱いについて】

研究利用する情報の保管担当者名は外科 秋田真之で、情報はネットワークに接続しないパソコン上で行い、研究終了後5年間保管することとします。

[研究成果の公表について]

研究対象者に対する研究成果の開示やフィードバックはありません。

研究結果は学会発表および論文投稿をもって公表とします。

試料・情報の提供者（研究対象者）から研究に関する情報の開示を希望する場合には、下記窓口までご連絡ください。

[研究へのデータ使用の取りやめについて]

試料・情報の研究利用の拒否および同意の撤回はいつでも可能ですので、下記問い合わせ窓口にご連絡ください。

拒否および同意撤回による不利益は一切生じません。

[問い合わせ窓口]

この研究の問い合わせだけでなく、患者さんのデータが本研究に用いられているかどうかお知りになりたい場合や、患者さんのデータの使用を望まれない場合など、この研究プロジェクトに関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院 外科

研究責任者名 秋田真之

連絡先：079-451-5500